

事務・事業の見直し検討状況について
(中間報告)

平成30年11月

広島市

目 次

事務・事業の見直し検討状況について（中間報告）	1
【総務関係】	
企画総務局	2
【建設関係】	
道路交通局	3

事務・事業の見直し検討状況について（中間報告）

1 趣旨

厳しい財政状況の中、限られた財源を有効に活用し、効率的な行政運営を推進するためには、「財政運営方針（平成28年度～平成31年度）」にも掲げたように、事務・事業全般について見直しを行う必要があり、昨年度に引き続きその見直しに取り組んでいます。

見直しに当たっては、市民の目線に立って、真に市政に求められる施策を、「選択と集中」の考え方に基づき検討するとともに、①事業目的に照らした事業の妥当性・必要性、②事業手法の有効性・効率性、③事業に対する市の関与のあり方という主に3つの観点から、見直しており、その成果を新たな施策の展開につなげていくこととしています。

2 今後の進め方

この度、庁内で検討を進めた結果、見直しの方向性が得られた事務・事業について、現時点での検討状況を中間報告として取りまとめ、公表するものです。

今後は、この中間報告を基本に議会の議論等を踏まえながら、更に検討を加え、平成31年度の当初予算等に反映してまいります。

なお、現時点において未だ方向性が得られていない事務・事業については、今後とも検討を加えていくこととしています。

【中間報告する事務・事業】

区	分	事務・事業名
総務関係	企画総務局	市政の広報について
建設関係	道路交通局	道路照明施設のLED化

【総務関係】

1 企画総務局

項 目	内 容
1 市政の広報について 【広報課】	1 見直しの方向 (1) テレビ広報番組放送においては、他の広報媒体と比べ、伝えられる情報量が少ないことから、費用対効果の観点から番組の再編や番組数の見直しを検討してはどうか。 (2) 若い世代へ市政情報を効果的に発信するために、若い世代の大半が利用しているSNSを積極的に活用した情報発信を検討してはどうか。 2 事務・事業の概要 (1) テレビ広報番組は、現在、以下の三つのコンセプトに分けて3番組を放送している。(各番組3分15秒で放送) ① 市政情報番組「週刊ひろしまスター」 (広島テレビ 毎週火曜日21:55～) 市の施策や事業などを紹介 ② 生活情報番組「ひろしま日常劇場 ご老公様 出番ですよ」 (中国放送 毎週日曜日21:54～) 正しいゴミの出し方や悪徳商法の対応方法などを紹介 ③ ひろしま魅力発信番組「野々村真の広島！魅力発見」 (中国放送 毎週土曜日21:54～) 広島広域都市圏の魅力などを紹介 (2) SNSによる情報発信は、市公式フェイスブック及びツイッターにより、イベント情報や観光情報など広島の魅力向上に関する情報、就業体験事業など市政に関する情報等を発信している。 3 見直しの理由 テレビ広報番組3番組のうち、「①市政情報番組」と「②生活情報番組」は、市の施策紹介として内容が重複する部分もあることから、この2番組を「市政・生活情報番組」に統合して1番組に再編する。 また、テレビ広報番組の再編により生み出される余剰経費の一部を活用して、若い世代に本市の情報に興味を持ってもらうための入口として、同世代での利用率が高く、他都市でも成功事例がある、写真・動画をメインとした「インスタグラム」を新たに導入することとする。 4 平成30年度当初予算額 8,840万4千円(テレビ広報番組3番組) 5 見直し効果額 平成31年度 △2,321万7千円(見込額) (テレビ広報番組の番組数の減: △2,944万1千円 SNSによる情報発信の強化: 622万4千円)

【建設関係】

1 道路交通局

項 目	内 容
<p>1 道路照明施設のLED化 【道路課】</p>	<p>1 見直しの方向 道路照明施設の光熱費等の維持管理費縮減とともに、温室効果ガス削減のために取り組んでいるLED化を一層効率的に行うため、民間事業者の資金とノウハウ等を活用してはどうか。</p> <p>2 事務・事業の概要 道路照明施設のLED化については、平成25年度から、道路照明灯は新設時に、また防犯灯は新設時及び球替え修繕の際に実施している。 現在、道路照明灯は、約3万灯のうち約1千灯（約3%）が、また、防犯灯は約5万3千灯のうち約1万2千灯（約23%）がLED化されている。</p> <p>3 見直しの理由 道路照明灯のLED化には、灯具全体の取り替えが必要であり、これを短期間で行おうとすると、一時に多額の費用を要することなどから、LED化は約3%の進捗率にとどまっている。 こうした中で、民間事業者がLED灯への一斉更新に係る全ての費用を調達し、改修工事と10年間程度の維持管理等を行い、本市がそれらの経費を光熱費等の削減額の中で償還していく「ESCO事業」を今回採用すれば、初期投資の平準化と維持管理費の縮減が実現可能となる。 また、道路照明灯で多く使われている水銀灯については、「水銀に関する水俣条約」により平成32年12月末以降、製造、輸出入が禁止されるが、このESCO事業の採用によりこうした課題にも対応可能となる。 なお、防犯灯については、地元業者が受注する年間業務で球替え修繕の際にLED化に取り組んでおり、引き続き、同業務の中で更新する。 今年度は、引き続き「広島市公共施設等ESCO事業導入ガイドライン（平成29年10月環境局策定）」を踏まえ導入検討を行ったうえで、民間事業者からの提案を受け受託事業者を決定するための公募型プロポーザルに取り組む予定である。</p> <p>【概念図】</p> <p>(現状) (ESCO事業期間中) 10年程度 (事業終了後)</p>

項 目	内 容
	<p>4 平成30年度当初予算額 道路照明施設に係る維持管理費 約9億4,000万円 (光熱費:約7億1,000万円 修繕費:約2億3,000万円)</p> <p>5 見直し効果額 具体的な見直し案の検討にあわせて算出する。</p>